

5 就航先市民の好みを知り、静岡県の魅力をアピール



韓国国民アンケート

●静岡県で行ってみたいポイント

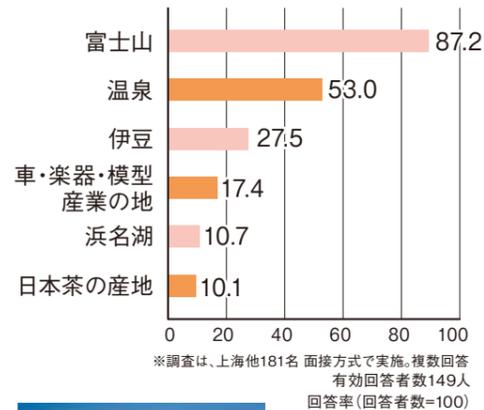
行ってみたい静岡県の観光スポット	回答数	構成比(%)	回答率(回答者数=100)
伊豆 露天風呂(温泉)	214	9.9	44.8
浜名湖・館山寺温泉	193	8.9	40.4
日本一の茶産地静岡と茶博物館・富士山	174	8.0	36.4
伊豆・焼津・浜名湖の海鮮料理	167	7.7	34.9
山間地を走る蒸気機関車(SL)	154	7.1	32.2
奥大井秋の紅葉と湖・渓谷の吊橋体験	152	7.0	31.8
富士山と御殿場のアウトレットモール	152	7.0	31.8
三保の松原・富士山と海・地引網漁体験	103	4.8	21.5
農園でのイチゴの食べ放題	101	4.7	21.1
清水港と伊豆市を往復する駿河湾フェリーからみた富士山	100	4.6	20.9
熱海温泉街のダンス芸 三大別荘の一つといわれ文豪が愛した旅館	95	4.4	19.9
裾野市のサファリパーク・富士山麓こどもの国	85	3.9	17.8
袋井市の古い日本屋敷と1500を超える花蕪蒲	79	3.6	16.5
静岡市清水港のショッピングプラザ (キャラクターテーマパーク・寿司街など)	66	3.0	13.8
浜松市楽器博物館	61	2.8	12.8
三嶋大社・富士山・柿田川湧水	61	2.8	12.8
富士山麓の朝霧高原の牧場・ゴルフ場	57	2.6	11.9
バイク・楽器工場見学	56	2.6	11.7
静岡市の模型などのプラモデル工場見学	55	2.5	11.5
御前崎ボートセーリング	45	2.1	9.4
合計	2,170	100.0	454.0
有効回答者数	478	-	100.0

注)四捨五入のため、内訳の計が合計に一致しないことがあります。
※調査は、ソウル240名、釜山99名、他151名、計490名。面接方式で実施。複数回答



上海市民アンケート

●静岡県の魅力は？



＜その他の効果＞

●外国人延べ宿泊数の増加

空港開港前後1年間の比較

順位	地域	H20.6-H21.5	H21.6-H22.5	伸び率
	全国	19,743,740	20,526,190	4.0%
1	秋田県	39,730	60,210	51.5%
2	鳥取県	10,770	16,090	49.4%
3	山梨県	367,240	459,870	25.2%
4	群馬県	48,100	58,120	20.8%
5	静岡県	380,140	455,550	19.8%
6	千葉県	1,528,130	1,804,440	18.1%
7	鹿児島県	79,900	92,220	15.4%
8	徳島県	14,260	16,450	15.4%
9	島根県	9,530	10,580	11.0%
10	沖縄県	297,050	328,730	10.7%

※(出所)観光庁「宿泊旅行統計調査」 ※調査対象従業員10人以上の宿泊施設
※H20.6-H21.12確定値、H22年1月以降速報値

●外国人延べ宿泊数の増加 空港開港年と2年目の比較

平成21年(確定値)	平成22年(速報値)	伸び率
372,230人	560,230人	50.5%

※(出所)観光庁「宿泊旅行統計調査」 ※調査対象従業員10人以上の宿泊施設

全国 5位

●県民の利便性向上効果(就航先への移動の時間・費用短縮)

県民が、富士山静岡空港を利用したことによる目的地までの時間・費用の短縮効果は、開港から1年間で22億円300万円と推計されます。

静岡市に住んでいるふじっぴー君が札幌へ旅行する場合

もし富士山静岡空港がなかったら...

所要時間は**269分**に
※時間価値原単位をかけた金額は16,436円。
それに航空運賃や空港までの交通費31,526円を加えると
合計47,962円かかります。

富士山静岡空港を利用すれば...

所要時間は**198分**。
それに時間価値原単位をかけると、12,098円。
それに航空運賃や空港までの交通費28,491円を加えると
合計40,589円でおさまります。

例	富士山静岡空港開港前	富士山静岡空港開港後
旅程	静岡駅→羽田空港→新千歳	静岡駅→富士山静岡空港→新千歳
航空運賃 他料金	31,526円	28,491円
所要時間・費用	269分 16,436円	198分 12,098円
計	47,962円	40,589円
差額(1人1回利用の時間・費用短縮効果) → 7,373円		

※時間価値原単位は、国土交通省のマニュアルで61.1円/分とされている。

富士山静岡空港 経済波及効果



空港開港から1年間で

245億5千万円

雇用創出効果 1,653人 / 税収効果 16.9億円

1 富士山静岡空港の県内経済への波及効果



定期便/札幌(新千歳)線▶1日2往復・福岡線▶1日3往復・熊本線▶1日1往復・鹿児島線▶1日1往復・沖縄(那覇)線▶1日1往復
ソウル線▶1日2往復・上海線▶週4往復(平成23年3月27日～5月31日運航スケジュール)
チャーター便/国内36便・海外150便 計186便(開港後1年間の実績)

富士山静岡空港

企業・産業への効果	家計への効果	行政への効果(税収効果)
生産誘発効果* 245.5億円 ※経済波及効果	雇用創出効果 1,653人	国税 8.1億円 県税 4.9億円 市町税 3.9億円 計 16.9億円
営業余剰誘発効果* 34.8億円 ※県内企業が得た利益(広義)の総額	雇用者所得誘発効果* 62.9億円 ※雇われている人(サラリーマンなど)が働いて受ける給与などの総額	※国税:所得税・法人税・消費税 他 県税:県民税・事業税 他 市町税:市町村民税・固定資産税 他

参考:空港管理運営費 6億4千4百万円(平成21年分で空港基本施設管理費、事務所運営費及び人件費等を含む。)

◆ところで経済波及効果って何?◆

富士山静岡空港に見学に来た方が、ターミナルビル内で人気のメロンパンを購入しました。パンが販売される分、当然パンが生産されます。生産されるのはパンだけに限りません。パンの原料である小麦粉や調味料、パンを焼くための燃料の生産も必要となります。石油系の燃料を使用しているのであれば、原油を精製する必要があります。こうして、パンの生産という直接効果だけでなく、間接効果が発生し、生産が誘発されます。このように何らかの消費需要や投資需要があったとき、その需要をまかなうための生産が誘発され、さらにその生産に必要な原材料が生産され、次々と生産が生産を呼んで様々な産業の生産が誘発される効果を生産誘発効果(経済波及効果)と呼びます。



② 富士山静岡空港の開港の効果と役割



- ① 国内外との青少年、学術・文化、ビジネス等の交流の輪の拡大
- ② 国際コンベンション、コンサート、スポーツ大会の誘致、開催
- ③ 企業立地、雇用の場の創出などによる本県の産業経済の活力の増進
- ④ 航空物流の拠点化の推進、災害時、緊急医療等での拠点機能を発揮
- ⑤ 陸・海・空の高速交通網の結節点となる立地特性を最大限に活用した地域の振興
- ⑥ アジアを中心とした観光ビッグバンに対応した観光戦略の展開

◎富士山静岡空港による県内への経済波及効果◎
 企業に▶生産誘発効果 | 家計に▶雇用創出効果 | 行政に▶税収効果

◆ 今回の分析の特色は？ ◆

本調査の分析モデルの特長

7地域間連結産業連関モデルと家計内生モデルの利用

通常、静岡県産業連関表を用いて、経済波及効果を推計しますが、今回は静岡県産業連関表と周辺都県の産業連関表を連結した「7地域間連結産業連関表」を新たに作成することにより、他県から県内への経済波及効果(跳ね返り効果)の測定を可能にしています。また、経済波及の実態をより正確に把握する家計内生モデルを採用しています。

今回の委託契約のコンペの際の審査員でもあり、経済統計学、産業連関分析が専門の埼玉大学経済学部の李潔教授から以上(右の図1、図2の特長)2点について、高い評価をいただいております。

図1 地域間連結表の特長

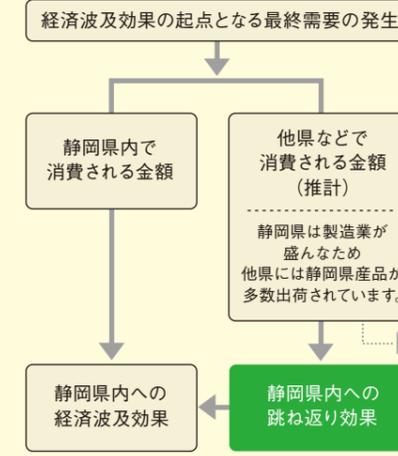
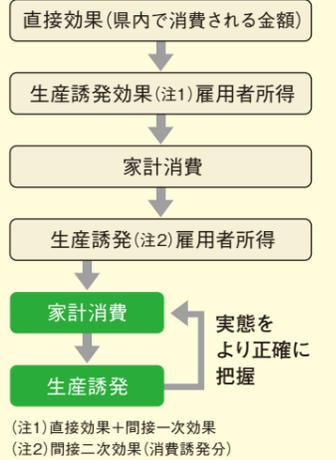


図2 家計内生モデルの特長



③ アウトバウンド・インバウンド別経済波及効果

項目	アウトバウンド		インバウンド			国内便 航空運賃	海外便 航空運賃	見学・送迎者 支出	行政空港 関連支出	総計
	日本人送客 (国内)	日本人送客 (海外)	日本人誘客	外国人誘客 (中国便)	外国人誘客 (韓国便)					
利用者数	26.4万人	11.8万人	15.4万人	1.7万人	8.1万人	41.8万人	21.6万人	(115.5万人)	—	63.4万人
※3 県内最終需要増加	700	434	3,439	172	525	3,927	1,433	3,903	1,551	16,083
※4 直接効果	370	217	2,932	161	495	3,927	1,433	2,832	1,313	13,679
※5 間接波及効果	594	167	2,222	170	598	3,067	1,002	2,080	969	10,871
※6 生産誘発効果	965	384	5,154	331	1,093	6,994	2,435	4,912	2,282	24,550
構成比(%)	3.9	1.6	21.0	1.3	4.5	28.5	9.9	20.0	9.3	100

注)四捨五入のため、内訳の計が総計に一致しないことがあります。

- ※1 アウトバウンド……富士山静岡空港から出掛ける人々
- ※2 インバウンド……他空港から富士山静岡空港(静岡県等)を訪問する人々
- ※3 県内最終需要増加……富士山静岡空港利用者、見学者等の県内での総支出額
- ※4 直接効果……※3で生じた県内最終需要(消費)増のうち、県内で生産された生産額
- ※5 間接波及効果……直接効果として生じた生産の原材料をまかなうために次々と誘発される生産額と生産増によって生じた雇用者所得の増加が、消費に向かうことによって誘発される生産額を含めた額
- ※6 生産誘発効果……経済波及効果のことで、直接効果と間接波及効果を合算した額

今回の調査は、静岡県が国立大学法人静岡大学に委託し、土居特任教授を代表に計7名の先生方が、調査分析を行いました。調査の基礎資料となるアンケート調査は静岡大学の学生・留学生と他大学の学生計26人が行いました。なお、静岡大学は、県が指名した李潔教授を審査委員とする「公募型企画提案競技方式」(コンペ)に参加した6社の中から審査の末、選ばれております。

※李潔教授…経済統計学・産業連関分析が専門の埼玉大学経済学部の教授

●上海便インバウンド客(観光客)の宿泊日数

回答者総数	100人	1人平均宿泊数	4.69泊
観光目的	67人	東京都泊	1.64
ビジネス・その他(私用他)目的	33人	大阪府泊	0.95
		静岡県泊	0.72
		山梨県泊	0.64
		愛知県泊	0.28
		その他	0.46

※「空港利用者調査(上海便)」より

●隣県(山梨県)にも経済波及効果

	県内最終需要増加	直接効果	生産誘発効果
静岡県	16,083	13,679	24,550
山梨県	593	524	1,268

県内宿泊が増えれば、静岡県の経済波及効果が増加します。



④ 石雲院展望デッキを整備してにぎわい創出

見学者の効果が全体の2割

「空港ティーガーデンシティ構想(抜粋)」▶
 石雲院展望デッキデザイン案
 (注)本デザインは、構想上のイメージ図

